

参考資料- 1 0

市民被害予防措置結果の記入要領

1 記入要領

措置記録の記入については、定期点検とのデータの一元化を図り

- ・点検調書（その5） 損傷図
- ・点検調書（その6） 損傷写真
- ・点検調書（その7） 損傷程度の評価記入表（主要部材）または、
点検調書（その8） 損傷程度の評価記入表（点検調書（その7）に記載以外の部材）
を使用する。

点検調書の記入要領を次頁以降に示す。

1.1 点検調書（その5）損傷図

定期点検の損傷図に打音点検を行って、除去できた箇所（C）、除去できなかった箇所（B）を追記する。また、市民被害予防措置点検で新たに発見した損傷については定期点検の判定に従って追記するものとする。

- ① 既補修部（R）を図示する。既補修部とは、剥落した損傷部を、コンクリート、モルタルにより補修した箇所を示す（防錆処理のみの部位は含まない）。既補修部についても打音検査等を実施した場合は、その旨図示する。
- ② 打音検査の結果に基づいて、清音部（A）と濁音部（B+C）を図示する。
- ③ 応急措置（叩き落とし作業）の結果に基づいて、コンクリート塊が落ちなかった箇所（B）、落ちた箇所（C）を図示する。
- ④ 措置図には、損傷判定区分に基づく判定区分を記入する
判定区分がB、Cについては、寸法（縦×横）を記載する。

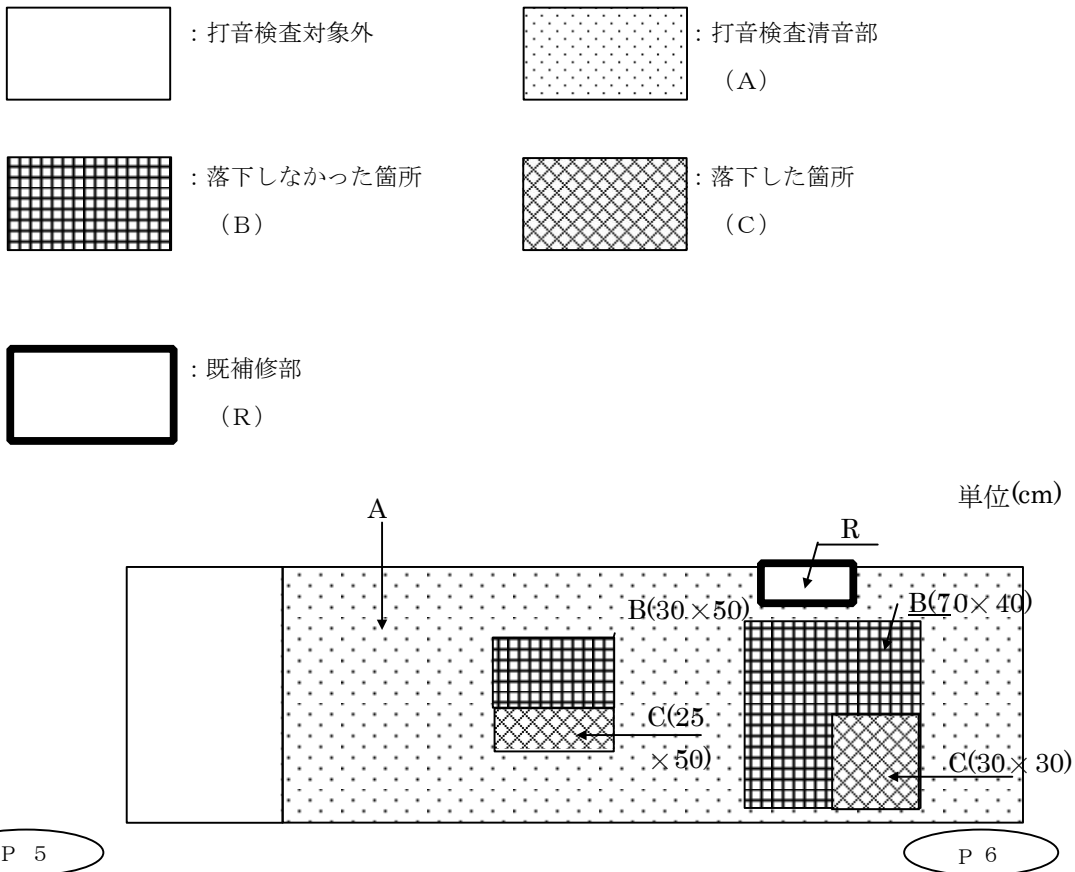


図3. 5 損傷図記入例（壁高欄）

1.2 点検調書（その6） 損傷写真

写真は以下のとおり作成する。

- ① 可視画像には、近接目視で特定した打音範囲を矩形等で図示する。
- ② 電子媒体を全て保管する。

【打音点検の記録写真】

- ① 音範囲チョーキング写真（叩き落とし前）
- ② 叩き落とし直後の写真（叩き落とし後）
- ③ 補修写真（防錆処理後）

1.3 点検調書（その7）又は（その8） 損傷程度の評価記入表

「損傷程度」欄には、表3.4の判定区分を記載する。

表3.4 損傷判定区分

判定区分	措置結果
A	打音検査の結果、異常なし。
B	応急措置（叩き落とし作業等）で落ちなかった（撤去できなかった）。
C	応急措置（叩き落とし作業等）で落ちた。
P	検査不可能（落下防止対策等が必要）

注1：同一の部材番号にB、Cの判定区分が存在する場合は、行を変えて各判定区分を記入する。

「損傷パターン」「損傷の種類」「分類」欄は、空白とする。

2 記入例

点検調査(その4-1) 市民被害措置図		径間番号	1
フリガナ 橋梁名	〇〇パン 〇〇橋	道路 種別	市道
所在地	自 広島市〇区〇〇町	路線 名称	〇〇区〇〇号線
	至 広島市〇区〇〇町	緊急輸 送道路	対象外
		管理区	
		起点 (代表点)	〇〇° 〇〇' 〇〇"
		緯度	〇〇° 〇〇' 〇〇"
		終点	〇〇° 〇〇' 〇〇"
		緯度	〇〇° 〇〇' 〇〇"
		経度	〇〇° 〇〇' 〇〇"
		橋梁コード	〇〇〇〇年〇月〇日
		調査更新 年月日	〇〇〇〇年〇月〇日
		竣工年	〇〇〇〇年

単位(cm)

要素番号図及び部材番号図


：打音検査対象外

：打音検査済箇所 (A)

：落下しなかった箇所 (B)

：落下した箇所 (C)

：既補修部 (R)

点検調査(その6) 損傷写真		径間番号		1										
カガナ 橋梁名	〇〇ハシ 〇〇橋	市道		〇〇区										
	所在地	自 広島市〇区〇〇町	〇〇区〇〇号線	〇〇° △△' □□"	調査更新 年月日									
		至 広島市〇区〇〇町	対象外	〇〇° △△' □□"	竣工年									
				〇〇° △△' □□"	〇〇〇〇年									
				〇〇° △△' □□"	〇〇〇〇年									
写真番号		001	径間番号	1	撮影年月日	2012.12.5								
部材名		高欄・地覆	要素番号	0101	メ モ									
損傷の種類		うき	損傷の種類	うき	メ モ									
 <p>防錆処理後の写真</p>		<p>大きさ410×170</p> <p>叩き落し後の写真</p>		<p>径間番号</p> <p>要素番号</p> <p>損傷程度</p>		<p>撮影年月日</p> <p>メ モ</p>								
								写真番号		1	径間番号	1	撮影年月日	
								部材名		高欄・地覆	要素番号	0101	メ モ	
損傷の種類		うき	損傷の種類	e	メ モ		メ モ							

点検調書(その7) 損傷程度の評価記入表(主要部材) 径間番号 1

工種	部材種別		損傷程度の評価			損傷パターン	損傷の種類	分類	第三者被害 予防措置点検 損傷判定区分
	材料	名称	記号	要素番号	損傷程度の評価				
S	C	床版	Ds	0101	C				
S	C	床版	Ds	0101	B				
S	C	床版	Ds	0101	P				
S	C	床版	Ds	0202	A2				
S	C	床版	Ds	0203	A2				

点検調書(その7) 損傷程度の評価記入表(主要部材) 径間番号 1

ﾌﾘｶﾅ 橋梁名 ○○橋	○○ハン	道路種別 路線名称	市道	管理区	○○区	橋梁コード	####
			緊急輸送道路				
所在地	自 至	○○区○○町	至 ○○区○○町	終点 緯度	〇〇°△△'□□"	竣工年	

工種	材料	部材種別		損傷程度の評価			損傷バターン	損傷の種類	分類	第三者被害 予防措置点検 損傷判定区分
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値				
R	C	高欄	Ra	0101	A1					
R	C	高欄	Ra	0101	A2					
R	C	高欄	Ra	0201	C					
R	C	地覆	Fg	0101	A2					
R	C	地覆	Fg	0201	A2					